

会

議

午前10時 0分開会

議長（増田 清君） おはようございます。

ただいまの出席議員は定足数に達しております。よって、平成22年2月下田市議会臨時会は成立いたしましたので、開会をいたします。

直ちに本日の会議を開きます。

#### 会期の決定

議長（増田 清君） 日程により、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期臨時会の会期は、本日より9日までの2日間といたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（増田 清君） ご異議はないものと認めます。

よって、会期は2日間と決定いたしました。

なお、会期中の会議予定につきましては、お手元にご通知いたしました案のとおりでありますので、ご承知願います。

#### 会議録署名議員の指名

議長（増田 清君） 次は、日程により、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第78条の規定により、議長において、4番 土屋雄二君と5番 鈴木 敬君の両名を指名いたします。

#### 諸般の報告

議長（増田 清君） 次は、日程により、諸般の報告を申し上げます。

最初に、議長会関係について申し上げます。

1月14日、第123回静岡県東部地区市議会議長会が熱海市で開催され、私と副議長が出席をいたしました。この議長会では伊豆の国市提出の「子ども医療費助成制度の創設について」及び熱海市提出の「普通交付税算定における特殊事情の算入について」の2件の議案を

審議し、可決されました。この提出議案2件については、1月28日開催の第138回静岡州市議会議長会定期総会に提出することを決定いたしました。

次に、1月27日、静岡県地方議会議長連絡協議会の平成21年度第3回政策研修会が静岡市で開催され、私と副議長が出席をいたしました。この研修会では静岡県企画部、君塚部長代理を講師に「富士山静岡空港の現状と課題について」、静岡県観光局、出野局長を講師に「東部・中部・西部地区における観光誘客戦略について」それぞれ講演を聴取いたしました。

次に、1月28日、第138回静岡州市議会議長会定期総会が袋井市の主催で掛川市で開催され、私と副議長が出席をいたしました。この総会では、平成21年度会務報告並びに平成22年度の予算審議を初め、浜松市提出の「持続可能な水産資源の確保について」、掛川市提出の「若年者・新卒者雇用対策の強化について」、伊豆の国市提出の「子ども医療費助成制度の創設について」及び「熱海市提出の普通交付税算定における特殊事情の算入について」の4件の議案が審議され、可決されました。この議決事項の処理につきましては会長に一任することに決定いたしました。

続いて、平成22年度議長会の役員の改選が行われ、下田市は全国議長会の市議会議員共済会代議員に内選されました。また、この総会で、当議長会表彰規程に基づく表彰が行われ、増田榮策議員が勤続15年以上の一般表彰を受けられました。増田議員には後ほど伝達いたします。

次に、昨日までに受理いたしました陳情書2件、依頼1件でございます。

下田市敷根の中田勇也氏より提出のありました「憲法違反の外国人参政権による選挙を実施しないことを再確認する陳情」及び「永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の決議を求める陳情」の写し2件、3・1ピキニデー静岡県実行委員会の代表委員、静岡県原水爆被害者の会会長、川本司郎氏ほか4名より通知のありました「非核日本宣言を求める政府への意見書採択のお願い」の依頼1件の写しを配付してありますのでご覧ください。

それではここで、先ほど申し上げました第138回静岡州市議会議長会定期総会で表彰を受けられました増田榮策議員に表彰状の伝達をいたします。

なお、下田市議会慶弔見舞い等に関する内規により、お祝い金を贈呈いたしますので、ご了承をお願いいたします。

それでは、表彰を受けられました増田議員は、中央にお進みください。

〔表彰状伝達 拍手〕

議長（増田 清君） ここで表彰を受けられました増田榮策議員よりごあいさつがございません。

9番（増田榮策君） 大変貴重な時間をいただきまして、ただいま議長より15年表彰という伝達がございました。これもひとえに今までの先輩、職員、また同僚の議員の皆さん、職員の皆さん、そしていろいろ応援してくださいました後援者の皆さんのご協力があったからこそできたものと感謝申し上げる次第でございます。

思い起こせば、私が議員になりましたのは、平成5年でございます。土屋宣夫議員と私が新人議員の議席をいただきまして、今日まで来たわけでございますが、途中、土屋宣夫議員はお亡くなりになりましたけれども、多くの先輩、職員の中で、もまれて今日まで来たことをよき思い出として心に残っております。

また、この間には心臓病、また腰痛からくる高血圧、そして最近では視力の低下と、皆さん方にいろいろとご迷惑をおかけしておりますが、与えられました任期は何としてでも全うしたいと思っておりますので、これからの私に対する皆様方の温かいご指導、ご鞭撻をさらにお願いいたしまして、簡単でございますが、私のごあいさつにかえさせていただきます。まことにありがとうございます。（拍手）

議長（増田 清君） 次に、今臨時会に市長から提出議案の送付と説明員として出席する旨の通知がありましたので、局長補佐をして朗読いたさせます。

事務局長補佐（須田信輔君） 朗読いたします。

下総庶第10号。平成22年2月8日。

下田市議会議長、増田 清様。静岡県下田市長、石井直樹。

平成22年2月下田市議会臨時会議案の送付について。

平成22年2月8日招集の平成22年2月下田市議会臨時会に提出する議案を別紙のとおり送付いたします。

付議事件。

議第1号 平成21年度下田市一般会計補正予算（第8号）。

議第2号 平成21年度下田市水道事業会計補正予算（第4号）。

下総庶第11号。平成22年2月8日。

下田市議会議長、増田 清様。静岡県下田市長、石井直樹。

平成22年2月、下田市議会臨時会説明員について。

平成22年2月8日招集の平成22年2月下田市議会臨時会に説明員として下記のものを出席

させるので、通知いたします。

記。市長 石井直樹、副市長 渡辺 優、教育長 野田光男、企画財政課長 糸賀秀穂、総務課長 鈴木貞雄、建設課長 井出秀成、上下水道課長 滝内久生、観光交流課長 山田吉利、産業振興課長 増田徳二、健康増進課長 藤井恵司、福祉事務所長 清水裕三、環境対策課長 藤井睦郎、教育委員会学校教育課長 名高義彦、教育委員会生涯学習課長 前田眞理。

以上でございます。

議長（増田 清君） 以上で諸般の報告を終わります。

#### 議第1号及び議第2号の上程・説明・質疑・委員会付託

議長（増田 清君） 次は、日程により、議第1号 平成21年度下田市一般会計補正予算（第8号）、議第2号 平成21年度下田市水道事業会計補正予算（第4号）、以上2件を一括議題といたします。

当局の説明を求めます。

企画財政課長。

企画財政課長（糸賀秀穂君） おはようございます。

それでは、一括議題のうち、私からは議第1号 平成21年度下田市一般会計補正予算（第8号）につきましてご説明申し上げます。

お手数ですが、お手元に水色の表紙の補正予算書と補正予算の概要をご用意いたします。

このたびの一般会計補正予算は、平成22年1月28日に成立した国の第2次補正予算に盛り込まれている地域活性化・きめ細かな臨時交付金の第1次交付限度額として下田市に示された配分額を財源として実施する道路、河川、公共建物修繕等のインフラ整備事業、またこれも国の第2次補正予算に盛り込まれている新型インフルエンザ予防接種の公費負担助成対象者の拡大に伴う追加補正と、子ども手当制度導入に伴う電算システム改修費用、そのほか合併処理浄化槽設置整備補助事業の追加、ひとり暮らし高齢者等の安全・安心確保のための緊急通報装置子機新規設置、それから坂本龍馬ゆかりの地宣伝のための観光協会補助金の増額、さらに新春を彩る下田・大島・館山フラワーラインを結ぶジェットfoil就航5周年記念として、第55回伊豆大島椿まつりに合わせた下田市民号訪問事業に係る経費が主な内容となっております。

それでは、議第1号 平成21年度下田市一般会計補正予算（第8号）につきましてご説明

申し上げます。

お手数ですが、補正予算書の1ページをお開き願います。

第1条の歳入歳出予算の補正でございますが、第1項は既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9,231万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ92億1,371万9,000円とするものでございます。

第2項の歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表 歳入歳出予算補正によるということで、2ページ及び3ページの第1表に記載のとおりでございますが、その主な内容につきましては、後ほど補正予算の概要によりご説明申し上げます。

第2条の繰越明許費ですが、地方自治法第213条第1項の規定により翌年度に繰り越して使用することができる経費は、第2表 繰越明許費によるということで、恐れ入りますが、予算書の4ページ、第2表 繰越明許費をご覧いただきたいと存じます。

第2表 繰越明許費に記載のとおり、繰越明許の事業は全部で9事業でございますが、まず2款総務費、9項情報政策費におきまして、事業名、電算処理総務事業、子ども手当システム導入作業委託で金額は504万円ですが、当該事業について年度内に業務完了の見込みがないため繰り越すものでございます。

次の8件の事業は、国の平成21年度第2次補正予算による地域活性化・きめ細かな臨時交付金を財源とした事業に係る繰越明許費でございますが、3款民生費、2項老人福祉費において、事業名、総合福祉会館管理運営事業のうち、きめ細かな臨時交付金事業の総合福祉会館浴槽修繕工事で260万円。

次の7款土木費、2項道路橋梁費において、事業名は道路維持事業ということで、市道土浜高馬線道路改修工事ほか8件の道路維持事業で合計金額4,570万円。

次は同じく7款土木費、2項道路橋梁費ですが、事業名、橋梁維持事業ということで、鍋田橋橋梁改修工事に係る設計業務委託料300万円と工事請負費1,700万円の合計金額2,000万円。

続きまして7款土木費、3項河川費ですが、事業名、河川維持事業ということで、準用河川数沢川護岸改修工事の工事請負費120万円。

次は同じく7款土木費、3項河川費、事業名排水路維持事業で、立野地区安城排水路改修工事が300万円、河内地区湯ヶ田排水路改修工事で120万円の合計金額420万円。

続きまして9款教育費、2項小学校費の事業名、小学校管理事業は、浜崎小学校及び朝日

小学校のトイレを洋式化するための改修工事で250万円。

次は9款教育費、3項中学校費ですが、事業名、中学校管理事業ということで、下田東中学校屋上防水修繕工事で100万円、稲梓中学校手すり修繕工事で150万円、合計金額250万円。

一番下に記載の9款教育費、6項保健体育費は、事業名、保健体育総務事務ということで、稲生沢中学校屋外照明灯改修工事300万円で、いずれの事業も年度内に工事等完了の見込みが立たず、年度内執行が困難なため繰り越すものでございます。

以上、繰越明許費は全9事業で総額8,674万円となり、うち地域活性化・きめ細かな臨時交付金により対応する事業は8事業で8,170万円の繰越明許費となるものでございます。

それでは、補正予算書の1ページに戻っていただき、第1条第2項の歳入歳出予算の補正の款項の内容につきまして、補正予算の概要によりご説明申し上げますので、お手元に水色の補正予算の概要をご用意いたします。

補正予算の概要の2ページ、3ページお開きいただき、まず一般会計歳入につきまして、企画財政課関係といたしましては14款2項7目総務費国庫補助金の地域活性化・きめ細かな臨時交付金7,184万3,000円を追加するものでございます。これは先ほどの繰越明許費に関連する予算でございまして、国の緊急地域経済対策の一環として、昨年12月8日に閣議決定された明日の安心と成長のための緊急経済対策の趣旨に沿ったきめ細かなインフラ整備を推進することによって、地元中小企業、零細事業者の受注機会の増大につなげて、地域活性化を促すという趣旨に基づき、国の第2次補正予算で創設された地域活性化・きめ細かな臨時交付金5,000億円のうち、保留分500億円を除き、第1次交付限度額として設定された4,500億円に係る下田市への配分額として7,184万3,000円を受け入れるものでございます。

なお、交付額につきましては、地方と都市の共生という理念に基づき、地方税の偏在是正により生じる財源を活用して、普通交付税に特別枠として計上される地方再生対策費算定額や、人口、財政力指数のほか、割増係数が加味された算定式に基づき算出されたものでございます。

18款繰入金、2項1目基金繰入金の財政調整基金繰入金は、通常分として1,300万円を追加するものでございます。これは地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業を実施するに当たり、入札差金が生じた場合や、交付金の第1次交付限度額の留保分500億円について第2次配分された場合に備え、単独費をつけることで調整できるようにするための財源として財政調整基金を繰り入れるものでございます。

続きまして、福祉事務所関係ですが、14款2項1目民生費国庫補助金の児童福祉費補助金

は466万9,000円の追加で、これは平成22年4月から児童手当制度にかわって子ども手当制度が創設されますが、その子ども手当支給のための準備事業費としてのシステム改修費でございまして、基準額300万円、人口割額で166万9,000円、合計466万9,000円を受け入れるものでございます。

続きまして、健康増進課関係では、14款2項2目衛生費国庫補助金の保健衛生費補助金は72万円の追加で、これは新型インフルエンザワクチン接種について、低所得世帯の負担軽減を図るため、生活保護世帯及び市民税非課税世帯のうち、妊婦や基礎疾患を有する者など優先接種対象者について、公費負担による新型インフルエンザワクチン接種助成事業を実施しているところですが、国の第2次補正により、生活保護世帯及び市民税非課税世帯に属する19歳から64歳までの健康成人にまで助成対象が拡大されたことから、ワクチン接種経費の2分の1を国庫補助金で受け入れるものでございます。

また、15款2項3目衛生費県補助金の保健衛生費補助金の36万円の追加も、生活保護世帯及び市民税非課税世帯に属する健康成人への新型インフルエンザワクチン接種に係る費用負担軽減措置に対して、助成対象経費の4分の1を県費補助金で受け入れるものでございます。

なお、接種率を3割と見込み、助成対象者1,360人のうち、接種者400人、接種費用は1回3,600円、接種回数は1回となります。

続きまして、環境対策課関係でございますが、14款2項2目衛生費国庫補助金の循環型社会形成推進交付金74万8,000円の追加は、下田市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱に基づく合併処理浄化槽設置補助に係る追加補助金でございまして、今回5人槽5基、7人槽を2基、合計7基分追加設置するもので、補助率は3分の1、現計予算との差額74万8,000円を追加するものでございます。

また、15款2項3目衛生費県補助金の環境対策費補助金は72万5,000円の追加で、これも先ほどの国庫補助金と同様、合併処理浄化槽設置補助に係る県費の追加補助金でございまして、補助率は国庫補助の60%に上乗せ分として1基当たり5人槽で8万2,000円、7人槽で10万2,000円を加えた額で、現計予算との差額72万5,000円を受け入れるものでございます。

18款1項特別会計繰入金、7目の水道事業会計繰入金は24万8,000円の追加で、これは合併処理浄化槽設置補助に対する水道水源保護条例の適用区分に係る水道上乗せ分で、金額は1基当たり5人槽で6万6,000円、7人槽で8万2,000円となっております。

続きまして、歳出に移らせていただきますので、引き続き水色の補正予算の概要をご覧ください。

補正予算の概要の4ページ、5ページをお開きいただき企画財政課関係ですが、2款9項1目の0910事業、電算処理総務事業は504万円の追加で、これは児童手当制度にかわり平成22年度から創設される子ども手当制度の導入のための準備事業、子ども手当システム導入作業委託に係る経費で、歳入で触れましたように特定財源として国庫補助金466万9,000円が充てられます。

12款1項1目の予備費71万8,000円の減額は歳入歳出補正財源の調整のためでございます。

続きまして、総務課の2款1項4目秘書広報費の0174事業、都市交流事業は11万円の追加で、これは下田・大島・館山フラワーラインを結ぶジェットfoil就航5周年記念として、第55回伊豆大島椿まつりに合わせた下田市民号訪問事業に係る経費で、内訳は旅費3名分と、復路となる熱海・下田間の大型バス借上料、それから事務費でございます。

続きまして、福祉事務所関係ですが、3款2項1目老人福祉総務費の1202事業、在宅老人援護事業は86万4,000円の追加で、これは経済危機対策臨時交付金事業として9月補正においてひとり暮らし老人等の安全・安心確保のための緊急通報装置の子機75台分の設置に係る予算を計上しましたが、今回さらに6台を追加するものでございます。

次の3款2項3目総合福祉会館費の1300事業、総合福祉会館管理運営事業260万円の追加は、きめ細かな臨時交付金事業として総合福祉会館2階の男女浴室タイル張りかえ修繕を行うものでございます。

続きまして、健康増進課の4款1項2目予防費の2022事業、伝染病予防事業は157万3,000円の追加で、これは歳入でも申し上げましたように、低所得者に対する公費負担による新型インフルエンザワクチン接種対象者が優先接種対象者に加え、19歳から64歳までの健康成人にまで拡大されたことに伴う経費でございまして、補正内容等に記載のとおり、対象者認定書等の印刷製本費に2万4,000円、郵便料1,360人分、10万9,000円、ワクチン接種補助費は対象者1,360人、接種率30%と見込み400人分、単価3,600円で144万円を計上したものでございます。

なお、特定財源として国・県補助金108万円を充当するものでございます。

続きまして、環境対策課の4款3項6目環境対策費の2384事業、浄化槽設置整備事業は304万4,000円の追加でございまして、歳入でご説明申し上げましたように、合併処理浄化槽設置補助に係る国・県補助金が追加されることから、今回5人槽5基、7人槽2基、合計7基分の設置がえに対して補助するものでございます。

続きまして、産業振興課ですが、5款1項3目農業振興費の3103事業、加増野農林水産処



理加工施設管理事業は50万円の追加で、これはきめ細かな臨時交付金を財源に加増野ポーレポーレの外側木部塗裝修繕を行うものでございます。

続きまして、観光交流課ですが、6款2項2目観光振興費4250事業、観光振興総務事務の20万円の追加は、坂本龍馬ゆかりの地である下田の宣伝、PRのために伊豆急下田駅構内に電気照明看板と横張り看板を設置するため、観光協会補助金を増額するものでございます。

続きまして、建設課ですが、7款2項1目道路維持費の4550事業、道路維持事業は4,570万円の追加でございまして、これは歳入でご説明申し上げましたように、国の緊急経済対策の一環として交付される地域活性化・きめ細かな臨時交付金を財源に地域住民等に身近なインフラ整備を行い、もって地元中小企業や零細事業所の受注機会の増大につなげて地域活性化を促すもので、事業内容は5ページの補正内容等に記載のとおり市道9路線の路面や側溝等の改修、整備工事を行うものでございます。

なお、交付金事業の選択に当たり、基本的な考え方としましては、これまで地域要望として挙げられてきていた事業や、新年度予算での対応を考えていた事業のうち、補助がつかず、また起債適用も見込めない単独事業であって、地元中小企業や零細事業所の受注が見込めるものについて、地域バランスを考慮した上で採択したものでございます。

続いて、7款2項4目橋梁維持費の4700事業、橋梁維持事業は2,000万円の追加でございまして、これも地域活性化・きめ細かな臨時交付金を財源に実施する事業で、老朽化が進んでいる鍋田橋を改修するための設計業務委託料300万円と、工事請負費1,700万円の合計2,000万円でございます。

次の7款3項1目河川維持費の4800事業、河川維持事業の120万円の追加も、地域活性化・きめ細かな臨時交付金による事業で、稲梓・箕作地内の準用河川数沢川護岸改修工事を行うものでございます。

6ページ、7ページをめぐっていただき、7款3項2目排水路維持事業の4900事業、排水路維持事業は420万円の追加で、これも地域活性化・きめ細かな臨時交付金による事業でございまして、7ページの補正内容等に記載のとおり、立野地区の稲生沢保育園前面を通る安城排水路の改修工事で300万円、河内地区、稲生沢中学校周辺の湯ヶ田排水路の改修工事で120万円、合計420万円を追加補正するものでございます。

続きまして、学校教育課ですが、9款2項1目小学校管理費の6050事業、小学校管理事業は250万円の追加で、これも地域活性化・きめ細かな臨時交付金による事業でございまして、浜崎小学校及び朝日小学校のトイレの洋式化を進めるものでございます。

続きまして、9款3項1目中学校関連事業の6150事業、中学校管理事業の250万円の追加も、地域活性化・きめ細かな臨時交付金による事業で、補正内容等に記載のとおり下田東中学校屋上防水修繕工事が100万円、稲梓中学校の手すり修繕工事が150万円、合計250万円の追加でございます。

続きまして、生涯学習課ですが、9款6項1目保健体育費の6700事業、保健体育総務事務は300万円の追加でございます。これも地域活性化・きめ細かな臨時交付金により、稲生沢中学校グラウンドの投光器器具、水銀灯用安定器、水銀ランプの取りかえ修繕など、照明等改修工事を行うものでございます。

以上、大変雑駁な説明でございましたが、議第1号 平成21年度下田市一般会計補正予算（第8号）の説明を終わらせていただきます。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。  
議長（増田 清君） 上下水道課長。

上下水道課長（滝内久生君） それでは、水道事業会計の補正予算についてご説明申し上げます。

お手元の水色の水道事業会計補正予算書のご用意をお願いいたします。

議第2号 平成21年度下田市水道事業会計補正予算（第4号）でございます。

予算書の1ページをお開きください。

補正第4号の主な内容でございますが、収益的収入及び支出におきまして、支出で水道水源上流域における浄化槽設置整備に係る負担金を増額するものでございます。

まず、第1条でございますが、平成21年度下田市水道事業会計の補正予算（第4号）は次に定めるところによるものでございます。

第2条は収益的収入及び支出で、予算第3条を次のとおり補正するものとし、支出で第1款水道事業費用を24万8,000円増額し、6億8,655万1,000円とするもので、その内訳とし、第1項営業費用を24万8,000円増額し、5億4,071万4,000円とするものでございます。

次に、予算に関する説明書でございます。

2ページ、3ページをお開きください。

平成21年度下田市水道事業会計予算実施計画でございます。収益的支出、支出、1款水道事業費用は24万8,000円増額し、6億8,655万1,000円とするものでございます。内訳とし、1項営業費用は24万8,000円増額し、5億4,071万4,000円とするもので、内容とし、1目原水及び浄水費24万8,000円の増額は、水道水源上流域における浄化槽設

置整備に係る負担金を増額するものでございます。

4 ページ、5 ページをお開きください。

平成21年度下田市水道事業会計資金計画でございます。支払資金は24万8,000円増額し、8億7,546万3,000円となり、この結果、年度末における資金残高は1億7,120万5,000円を予定するものでございます。

6 ページ、7 ページをお開きください。

平成21年度下田市水道事業予定貸借対照表でございます。補正第3号の予定貸借対照表に、補正第4号の補正予定額を増減したもので、6 ページ末尾に記載してありますように、資産合計は64億671万2,000円となるものでございます。7 ページ末尾に記載してありますように、負債資本合計は64億671万2,000円となり、さきの資産合計と一致し、貸借対照表は符号しているものでございます。

8 ページをお開きください。

平成21年度下田市水道事業予定損益計算書でございます。1の営業収益7億5,607万3,000円から、2の営業費用5億3,160万7,000円を差し引きますと、営業利益は2億2,446万6,000円となるものでございます。

次に、3の営業外収益457万5,000円から、4の営業外費用1億2,032万5,000円を差し引きますと、マイナス1億1,575万円となり、この結果、経常利益は1億871万6,000円で、これに5の特別利益1,000円を加え、6の特別損失500万円と、7の予備費400万円を引きますと、当年度純利益9971万7,000円を予定しているものでございます。

以上、大変雑駁な説明ではございますが、議第2号 平成21年度下田市水道事業会計補正予算(第4号)の説明を終わらせていただきます。よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

議長(増田 清君) 議第1号及び議第2号について当局の説明は終わりました。

これより各議案ごとに質疑を行います。

まず、議第1号 平成21年度下田市一般会計補正予算(第8号)に対する質疑を許します。  
1番。

1番(沢登英信君) 今回の補正予算の大きな柱の一つが地域活性化・きめ細かな臨時交付金の交付による内容だということになるかと思いますが、国が5,000億円の枠組みの中で4,500億円ですか、そうしますと残りの500億円の交付がいつ頃予定ができるのかと、あるいは全く予定ができないものなのか。恐らく仕組みから言えば3月いっぱいまでに結論が、国

のほうとしては出してくると、こういうことになろうかと思いますが、その辺をどのように予測をされているのか。

先ほど事業計画の中で8,220万円、交付額が1,184万3,000円だと、入札差金等を見込んで持ち替えがあるんだと、こういう具合に言っていたわけでありますので、関連してそこら辺の見解をまず1点お尋ねしたいと思います。

それから、きめ細かな臨時交付金ということで、地域活性化を図ると、こういうことでございますので、この予算でどのような形で下田市の経済の活性化が図れるとお考えなのか、そのところの根本の説明をいただきたいなど、こう思うわけであります。

それに、時期的に今の時期に出てきていますので、当然繰越明許で進めなければならぬという事情もわかるわけでありますが、いつ頃、どのような形でこの予算が執行をされるのかと、効果とあわせてそこら辺のことも状況があらうかと思っておりますので、また入札を含めて当然、検討されていると思うんですが、どのような形で市内の業者の人たちが、これの仕事ができるということになるのか、その時期はいつかを含めてお尋ねをしたいと思っております。

議長（増田 清君） 企画財政課長。

企画財政課長（糸賀秀穂君） 今回のきめ細かな臨時交付金、総額5,000億円の第2次補正でございます。そのうち4,500億円が第1次の限度額として各自治体のほうに配分されるわけでございますけれども、残りの500億円につきまして、いつ頃どのような形で配分されてくるのかということでございますけれども、これについては現在の国の考え方は、第1次の交付限度額を超える地方公共団体のうち、この交付金の趣旨に非常に効果が高いと認められる事業を実施する自治体に対して重点的に配分していくということでございます。

この内容は、国で示されている緊急経済対策の具体的な事業として、どのような事業を想定しているのかということで、例えば電線の地中化とか、地方公共団体の都市部の緑化など、あるいは森林における路網整備、あるいは景観保全といったような、危険な橋梁の改修整備とか、そういった具体的に国のほうが挙げているような事業を多分想定しているんじゃないかというふうに予想はしますけれども、残念ながら下田市は今、挙げたような事業についてはなかなか実施が難しいということで、その他の単独事業として公共施設または工業施設の建設、修繕に係る事業を重点的に今回実施するという形で、事業を組ませていただきました。

ですから、この申請を既に上げているわけですがけれども、全国から集まったこの事業の内容の中で、恐らく国のほうで保留分の500億円をどういう形で配分していくのかということで、これから検討していくんじゃないかと思っております。ですから、今の時点でこれが確実に下

田市に幾ら来るかと、またその時期についてもいつ頃になるかということは、今時点ではまだはっきりとはお答え申し上げられない状況ということでご理解いただきたいと思います。

それから、活性化の具体的な効果としてどのようなことを想定しているのかというご質問でございますけれども、これは当然、説明の中でも申し上げましたように、地元の中小企業や零細事業者の受注機会の増大につながるような形で、行政としては発注の配慮をしていくということでございまして、当然確実に8,220万円ほどの総事業費になりますけれども、これが当然具体的な形で経済の振興、活性化につながっていくというふうに期待するものでございます。

この執行の時期でございますけれども、当然、今の時点でございますので、これから設計を組んだり、あるいは所定の手続を経たりという形になれば年度内執行は難しいということで、繰越明許をお願いしているわけでございますけれども、当然、繰越明許をしてなるべく早い時期に発注しないと、やはり経済効果というものは早くあらわれてこないわけですので、そういったことで心がけてまいりたいというふうに考えています。

どのような形で発注等を考えているのかというご質問でございますけれども、基本的にはこれは競争入札という形をとらせていただきますが、これはもう手続の中でですよ、手続の中で随意契約ができるものについては、そういった形でも対応していきたいというふうには考えております。

以上です。

議長（増田 清君） いいですか。

1番。

1番（沢登英信君） わかりました。入札で進めると、随契のできるものは随契ということではありますが、ぜひとも何社かに集中して仕事がやられるというようなことではなくて、市内の業者の方々がそれぞれ分担できるような、そういう配慮をぜひしていただきたいというお願いをして質問を終わりたいと思います。

議長（増田 清君） ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（増田 清君） これをもって質疑を終わります。

ただいま議題となっております議第1号議案はそれぞれ所管の常任委員会に付託をいたします。

次に、議第2号 平成21年度下田市水道事業会計補正予算（第4号）に対する質疑を許し

ます。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（増田 清君） 質疑がないものと認めます。

ただいま議題となっております議第2号議案は産業厚生委員会に付託をいたします。

議長（増田 清君） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

これをもって散会いたします。

これより委員会審査をお願いし、明日、本会議を午前10時より開催いたしますので、ご参集のほどよろしくお願いを申し上げます。

ご苦労さまでした。

午前10時42分散会